

監査広報

Audit public relations

平成29年度 決算審査の 結果

決算審査は地方自治法などのもと、町行政の1年間の事務執行が適正に行われたかを監査委員がチェックするものです。7月9日(月)から18日(水)までの間の6日間で審査を行い、その結果を意見書として町長に提出しましたので、内容を以下のとおり公表いたします。
※紙面の都合上、一部抜粋・要約のうえ、記載しています

監査結果の見方

監 : 監査委員の指摘事項など

回 : 町の改善策など

監 意見・指摘事項など
●全庁共通 税や使用料などの債権徴収においては、歳入確保の観点から更なる積極的な取り組みを求めます。滞納繰越とならば徴収率が下がることから、未収を発生させないための早期の徴収に向け、効果的・効率的な債権回収はもちろんのこと、新たな手法などを調査・研究していくべきだときたい。

基金の運用状況を示す書類について審査の結果、計数は誤りのないものと認められ、その運用は所期の目的に沿ってなされており、関連する事務の処理は全ての重要な点において適正に行われていると認められました。

町長から審査に付された各会計決算書（一般会計および7つの特別会計）、財産に関する調書および関係諸帳簿、証書類などを精査したところ、いずれも正確に記帳され、その内容も適正なものと認められました。

本審査を通じて確認した予算の執行については、一部事務手続きに改善を要するものを除き、関係法令に準拠して行われており、適正と認められました。

監査委員から町長へ意見書を提出

地方自治法第233条第2項並びに地方公営企業法第30条第2項の規定により審査に付された平成29年度松田町一般会計および特別会計歳入歳出決算書、並びに上水道事業会計決算書、その他の関係証書類について審査し、また、地方自治法第241条第5項の規定により基金運用状況を審査しました。

回 町税、使用料などの未納対策としては、これまでにも庁内における情報の共有などを進めてまいりました。

監 また、平成29年度には町で初めて不動産公売での実績が出るなど、新たな試みも結果に結びついたところです。

今後は、滞納繰越とせず現年度に収納できるよう、催告書の送付時期や頻度の見直しを図ってまいります。また、民間委託の実施など、有効な手段を調査・研究し、近隣市町の動向も踏まえながら、さらなる収納の徹底を図ります。

回 町税、使用料などの未納対策としては、これまでにも庁内における情報の共有などを進めてまいりました。

平成30年度松田町一般会計補正予算の主な内容

一般会計補正予算(第4号) 平成30年9月6日議決既定の歳入歳出予算に4,086万円を追加

歳 入 (主なもの)

| | |
|------------------------------------|----------|
| 普通交付税 | △3,361万円 |
| へき地児童生徒等援助費補助金(国庫) | 368万円 |
| 少子化・人口減少社会に対応した活力ある学校教育推進事業補助金(国庫) | 92万円 |
| 市町村スポーツ施策推進補助金(県費) | 63万円 |
| 前年度繰越金 | 6,019万円 |
| 町債 | 565万円 |

歳 出 (主なもの)

| | |
|----------------------|---------|
| 後期高齢者医療運営事業(過年度分精算金) | 407万円 |
| 松田中学校・寄中学校統合に係る経費 | 846万円 |
| 木の学校づくり先導事業に要する経費 | 92万円 |
| 予備費 | 2,399万円 |

平成30年度一般会計予算総括表

| 補正前の予算額 | 補正額 | 補正後の予算額 |
|------------|---------|------------|
| 50億1,513万円 | 4,086万円 | 50億5,600万円 |

※金額は原則、千円単位を四捨五入し記載しています

回 町で備蓄する食糧などについては、県の地震被害想定に基づき、被災者の3日分を目安としており、定期的な更新を図っています。

ただし、災害発生時の必要物品や食糧備蓄については、町民の皆さんにもご協力をいただき、ローリングストック方式（いつも使える食材を多めに購入し、食べた分だけ買い足していく方式）を活用しながら、家庭でも自主的に備えていただくよう、周知いたします。

回 町で備蓄する食糧などについては、県の地震被害想定に基づき、被災者の3日分を目安としており、定期的な更新を図っています。

回 表作成に伴い、固定資産台帳を整備する際、国で定めた一定のルールに基づき、資産計上をしたところですが、ご指摘の内容などを十分に踏まえ、年度更新時に台帳整備の精度を上げてまいります。

監 財産に関する調査について、公会計が導入された現状を踏まえ、美術品などの資産計上についても、どうあるべきかを検証しておく必要があると思われます。

監 平成28年度決算に係る公会計財務諸表作成に伴い、固定資産台帳を整備する際、国で定めた一定のルールに基づき、資産計上をしたところですが、ご指摘の内容などを十分に踏まえ、年度更新時に台帳整備の精度を上げてまいります。

●監査委員紹介

識見監査委員（代表監査委員）
鈴木 鍵和田毅志
敬称略

議会選出監査委員
鈴木 鍵和田毅志
眞徳
敬称略

目的に更新し、適正管理してまいります。